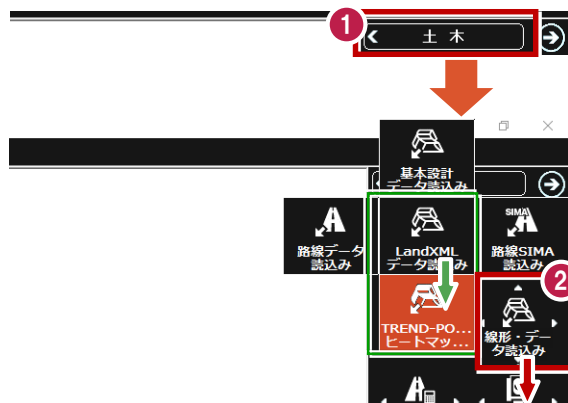


# 任意点計測 【ヒートマップ（検査編）】

任意点計測では、LandXMLデータ、基本設計データ、TREND-POINTから出力したヒートマップを元に、任意点を計測して、設計値との差を表示します。

## 1 TREND-POINTのヒートマップデータを読み込む



1 2

【土木】 - 【線形・データ読み込み】 - 【TREND-POINTヒートマップ読み込み】 を選択して、TREND-POINTから出力したヒートマップを読み込みます。

## 2 TS、またはGNSSと接続する

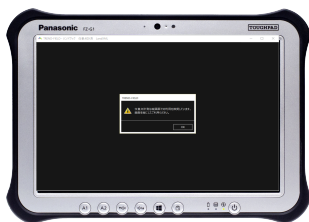


1 【任意点計測】 を指定します。



2 使用しているハード（FZ-G1等）を、縦にします。

次頁へ



③ [ヒートマップ (検査)] を指定します。

欠測箇所の補間を行うときは [ヒートマップ (欠測補間)] を選択します。



## ■ TSのみと接続する場合



④ 接続するTSを選択します。

⑤ [次へ]を押します。

⑥ 使用しないを選択します。

⑦ [OK]を押します。

## ■ GNSSのみと接続する場合



④ 使用しないを選択します。

⑤ [次へ]を押します。

⑥ 接続するGNSSを選択します。

⑦ [OK]を押します。

## ■ハイブリッド観測する場合



④ 接続するTSを選択します。

⑤ [次へ]を押します。

⑥ 接続するGNSSを選択します。

⑦ [OK]を押します。

### 3

## 基準点に器械を設置する



T&Sと接続した場合の説明です。

① ここでは「通常設置」を選択します。

② ③  
器械点、後視点を指定します。

④ 器械高を入力します。

⑤ 目標高を入力して、後視点を観測します。

## 4

## 任意点計測を行う



1 CAD上から、計測するグリッドを指定します。

2 指定したグリッドへの誘導角と距離が表示されます。  
(誘導角と距離が表示されない場合は、[誘導表示]を押してください)

3 TSを誘導角に旋回し、ミラーを視準し[観測]します。

手動TSの場合は、TSをこの角度に旋回させて、ミラーを誘導し、観測します。モーター内蔵のTS（自動視準やワマン）の場合は、偏角ボタンが表示されます。そのボタンを押すと、自動的にTSが誘導方向に旋回されます。



4 指定したグリッドまでの位置が表示されますので、更にミラーを誘導し[観測]します。この作業を複数回繰り返し、指定したグリッドの位置まで誘導します。

誘導画面を平面CADに切り替えることもできます。

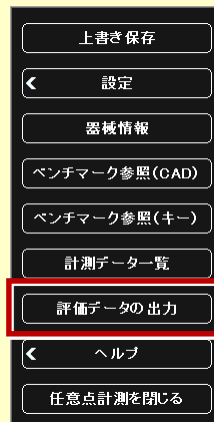
5 設計面までの差が表示されます。



6 [面との差]を選択すると、更に大きい文字で確認することができます。

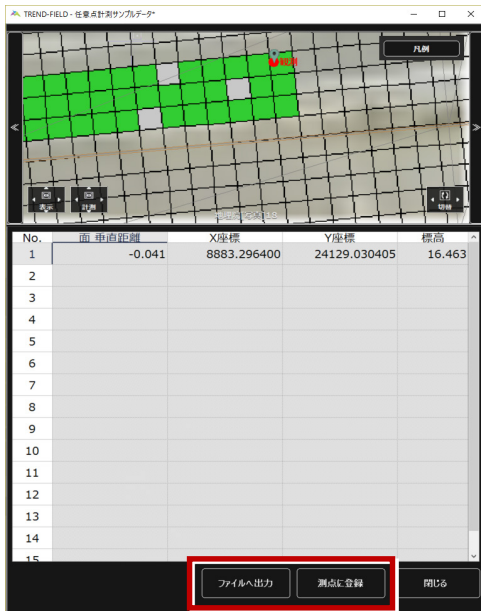
7 観測したデータを残す場合は、[計測位置を登録]を指定します。

計測を終えたら、必要に応じて、[メニュー] - [評価データの出力] で評価データを出力します。





登録したデータを確認する場合は、  
[メニュー]- [計測データ一覧] を指定  
します。



計測データを、CSVファイルとして出力  
する場合は、[ファイルへ出力]を指定  
します。  
また、測点に登録する場合は、[測点  
に登録]を指定します。